

令和2年8月31日

紫波町議会議長 武田 平八 殿

紫波町議会すこやか町づくり常任委員会
委員長 根水 康博

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会の所管事務について、調査の結果を下記のとおり、会議規則第76条の規定により報告いたします。

記

1 調査事件

新型コロナウイルス感染症に係る影響と感染防止対策について

2 調査期日及び調査先

令和2年7月14日（火） 紫波町立紫波第一中学校

3 参加者

委員長	根水 康博
副委員長	熊谷 育子
委員	及川 ひとみ
委員	細川 久
委員	阿部 美佳子
委員	戸塚 美穂
委員	北條 聡
委員	浅沼 有朋
事務局	中上 博樹

4 調査結果

別紙のとおり

以 上

【現地調査先】 紫波町立紫波第一中学校

1 沿革の概要

昭和 30 年 4 月	紫波町立紫南中学校として創立（日詰・赤石の中学校を統合）
昭和 31 年 1 月	紫波第一中学校と校名を変更
5 月	紫波町立古館中学校廃止により本校に統合
昭和 32 年 10 月	校歌制定
昭和 39 年 9 月	統合創立 10 周年記念落成式典挙行
昭和 48 年 11 月	創立 20 周年記念式典挙行
昭和 56 年 3 月	校舎改築工事（第一期・西校舎）完了
昭和 61 年 2 月	創立 30 周年並びに屋内運動場改築落成記念式典挙行
平成 5 年 11 月	校舎増改築工事落成式（東校舎）記念式典挙行
平成 6 年 5 月	J R C（青少年赤十字）加入

2 生徒数・学級数（令和 2 年 4 月 3 日現在）

	1 年生	2 年生	3 年生	特別支援学級	計
男子	113	117	82	9	321
女子	100	103	110	3	316
計	213	220	192	12	637
学級数	7	7	6	2	22

3 学校経営の方針・重点（令和 2 年度学校要覧より）

3.1 教育方針

本校は、最大の受益者である生徒のための教育活動を展開し、知・徳・体のバランスの取れた生徒の「生きる力」を育むとともに、紫波町の歴史や文化に誇りを持ち、紫波町の担い手として発展に寄与しようとする意欲を持った生徒を育成します。

また、保護者・地域のニーズ等にこたえ、地域の学校としての機能を発揮するとともに、家庭・地域と協同して生徒たちの教育を展開していきます。

さらに、本校はいじめを許しません。いじめが発生した場合は、可能な限り迅速な対応を行います。

3.2 学校教育目標

潮をなして文化を興す【学力・教養・芸術・スポーツ・知・為・共生】

健康常に心を正す【健やかな心と体・徳・規範・校正・公共】

勤労とともに世界に香る【勤労・人間として生きる・貢献・進路実現・自己実現】

3.3 教育目標を支える理念

J R C 理念（態度目標）「気づき 考え 実行する」

3.4 経営の重点

- (1) 確かな学力の保証
- (2) 多面的・多重的な「経営の重点」の取組みにかかる教員の意識改革
- (3) 総合的な学習の時間を利用した「紫波町を担う人材」の育成
- (4) 系統立てたキャリア教育・進路指導による主体的な進路選択学習の充実
- (5) いじめの早期発見と学校不適應生徒の削減
- (6) 紫波町学校再編にともなうコミュニティ・スクールと小中一貫教育

4 新型コロナウイルスの影響と感染予防対策について

事前質問事項通知による説明

4.1 新型コロナウイルスの影響

- (1) 臨時休学 令和2年3月2日（月）～3月19日（木）までの14日間
- (2) 簡 略 臨時休学期間中、プリント等による自宅学習とし、週1回、各地区公民館でプリントを提出させて生徒の健康状態を観察した。
卒業式は、卒業生と保護者のみで実施
入学式は、入学生と保護者のみで実施
- (3) 延 期 運動会を平日開催
修学旅行を2学期開催予定
- (4) 中 止 生徒会オリエンテーション・全校朝会・授業参観日・PTA総会（書面議決）・盛岡市内一周継走大会・県中総体等各種大会・合唱コンクール・吹奏楽コンクール

4.2 新型コロナウイルスの感染予防対策

- (1) 検 温 朝の健康観察時に家での検温結果を記録
部活動開始時に検温を実施
- (2) ソーシャルディスタンス 授業でソーシャルディスタンスを確保することは物理的に不可
室内での集会は、学年単位で実施
全校生徒が集まる場合、校庭で実施
運動会の種目変更（3密回避）
- (3) 咳エチケット マスクの着用・手洗い・換気の励行
合唱部の活動や音楽の授業でマスク着用
- (4) 除菌・消毒 玄関・昇降口に消毒薬を設置
共用部分（蛇口・手すり等）を放課後に保健委員の生徒が消毒作業

5 質疑応答

問1 感染予防と合わせて熱中症対策は検討されているか。

答 5月中旬から水筒を持参させている。また、昨年度に各教室にエアコンが設置されたので暑い日には稼働させている。

問2 休校となった授業分への対応は。また、今後のために休校時の学習確保について考えはあるか。

答 未履修の対応は即完結できたが、技術家庭科などは1ヶ月かかった。リモート学習などへの対応に関しては、各家庭のWi-Fi環境、端末などが必要になるため家庭における格差が生じ対応は難しいと捉えている。1日6時間授業をどう構築するのが課題になり、当面、プリント対応になることが考えられる。

問3 家庭での健康観察（体温測定）ができなかった生徒に対しての対応は。

答 学校（保健室）で検温することになる。

問4 音楽の授業や合唱部の活動はマスクを着用することになるが、呼吸困難、熱中症等の体調不良が心配されるが。

答 保護者からも留意を要するよう指摘があった。特別教室にはエアコンが設置されていないため、換気には十分気を付けている。

問5 行事への対策については。

答 運動会や文化祭などは、生徒の成長にとって大事であり中止にはしたくない。運動会については種目を減らすなどした。今後控えている合唱コンクールへの対応として、フェイスシールドを検討している。

6 所感

新型コロナウイルス感染症対策として、国から全国一斉の小中高校の臨時休校要請が出された際、学校長は町の派遣事業の引率でオーストラリア滞在中であったため、対応に困難を要したとのことであった。

しかし、3月2日から3月19日までの臨時休校期間には、プリント等による自宅学習、また、週一回地区公民館において時間をずらし生徒の学習・体調観察を行うなど、短時間に徹底された指導体制が構築され実施されたことは、日ごろからの職員間の連携が図られていることが伺える。

再校してからは、共用部分（ドアノブ等）の消毒作業を保健委員が実施するなど、日常の徹底した指導により、感染予防に対する意識が養われていることが伺える。

校長先生との質疑応答の中で、体温計は非接触型のものが必要ではないか、文化祭（合唱コンクール）に向けてフェイスシールドの準備や、マスク着用による熱中症への懸念から特別教室にもエアコン設備設置の必要性等を感じた。

3密回避にはソーシャルディスタンスが求められ、生徒数が多く空き教室が少ないことから物理的に不可能であるとの説明を受け、授業参観を兼ねた校内見学で理解することができた。

当校だけではなく、感染防止対策に必要な対策は、町内の学校全般に考えられる。そのためにも、まずは、それぞれの課題に応じた必要な備品等を把握し、早急に環境を整える必要がある。